

平成23年度第3回 生涯学習教育研究センター運営委員会議事要旨

○日 時：平成23年12月7日（水） 10：30～11：30

○場 所：地域国際学習センター3階 304教室（学習相談室）

○議 題：【審議】

1. 平成24年度公開講座の募集について
2. 生涯学習教育研究センター研究紀要の編集等について

【報告】

1. 生涯学習教育研究センター概要リーフレットの作成について

○出席者：真栄城勉（生涯学習教育研究センター長）、背戸博史（生涯学習教育研究センター教授）、後藤武俊（生涯学習教育研究センター准教授）、李好根（法文学部教授）、大島順子（観光産業科学部准教授）、森山克子（教育学部講師）、賀教清孝（理学部教授）、青木一雄（医学部教授）、山本健一（工学部准教授）、本村恵二（農学部教授）、西村裕輝（大学教育センター准教授）

○陪席者：我那覇生治（地域連携推進課長）、玉城優里（地域連携推進係 係員）

始めに、真栄城委員長より、前回委員会の議事内容について説明があり、議事に対して意見・訂正等があれば、後ほど地域連携推進課へ連絡するよう発言があった。

【審議1】平成24年度公開講座の募集について

平成24年度公開講座の募集について、背戸委員より、資料1に基づき次のとおり説明があった。

例年通り、各学部・センター単位で一般コース2講座、専門コース1講座以上で協力依頼をする予定である。公開講座は全国的に減少傾向にあるが、本学は増加傾向にある。ただ、学部間でのばらつきがあるため、総合大学として、各分野から講座を提供していただくようにしたい。また、一般コースはもちろん、専門職に対する学習機会の提供および専門的内容の講座の提供として、専門コースの充実・強化を図っていきたいと考えている。

次年度は強化テーマ「震災後の日本を展望する」を実施する予定である。震災の総括から始め、今後の日本の展望を考えるような体系的な講座を考えている。募集については、通常のパブリック講座と併せて行うが、当センターより別紙3（資料P8）のような枠組みを提案し、関わりのある研究をされている先生に立候補またはご推薦頂いて後、講座の組み立てや日程の調整等を行い、全体を統合していく予定である。

このことについて次のような質疑・意見等があった。

○被災地等、外部から講師に来ていただくことは可能か。また、名誉教授でも可能か。

→原則として学外講師は不可としている。ただ講座の意義等に応じて学外の講師が適任ということであれば、招聘することも可能である（ただし予算との兼ね合いもあるため要相談）。また本学を退職された教員に講師を務めていただくことも可能である。

○食の安全、食糧確保、防災教育を仮想テーマに加えてはどうか。

→指摘のあった上記テーマを加えて依頼することとなった。

○次年度も公開講座の提供を考えているが、宿泊を伴う公開講座の実施は可能か。また、良い移動手段はあるか。

→夜に教育プログラムが入るような講座や、連続した2日間のプログラムのような組み立てであれば、宿泊を伴う公開講座の実施も問題ない。移動手段については、現在大学のバスは土日は運休しているため、民間のバスならチャーターできる可能性がある。このことについては、大学としての方針があるか確認してみることもとなった。

○パソコンを使用する公開講座の実施に関しては下記のような問題点があり、実施が難しいことがある。

申請手続き（ID登録申請）、ネット環境、セキュリティ、総合情報処理センターとの連絡調整

最後に、強化テーマを含めた公開講座の募集について、運営委員の先生方より各部局の教授会等の機会にアナウンスをしていただきたいとの依頼があった。

審議の結果、平成24年度公開講座の募集については了承された。

【審議2】生涯学習教育研究センター研究紀要の編集等について

生涯学習教育研究センター研究紀要の編集等について、後藤委員より、資料2に基づき次のとおり説明があった。

例年通り、県内教育機関に幅広くチラシ等を配布し、原稿の募集を開始している。一昨年より、生涯学習フォーラムの編集に当たっては編集委員会において行うこととしており、その委員は、本センター運営委員より選出することとなっているため、今回依頼する次第である。

このことについて次のような質疑があった。

○原稿募集の際、研究論文と研究ノートが同じカテゴリーとなっているのはなぜか。

→投稿規程では論文と研究ノートで区分されているが、実際は研究論文として投稿して頂いた原稿を、査読の結果、研究ノートとして掲載することもあるため、募集の際は同じカテゴリーとした。

審議の結果、大島委員、西本委員、背戸委員、後藤委員の4名が編集委員となることで了承された。

【報告1】生涯学習教育研究センター概要リーフレットの作成について

生涯学習教育研究センター概要リーフレットの作成について、玉城係員より報告があった。

組織の運営委員紹介の中で、医学部が抜けているとの指摘があったため、早急に修正し、再印刷をして学内外へ送付することとなった。

以上